

海の出前授業活動報告

日時： 2021 年 5 月 27 日

講演タイトル： クラゲのお話

講師：藤井直紀（佐賀大学農学部特任助教）

参加人数： 53 名

【内容及び状況報告】

玄海みらい学園では、2021 年度において 7 年生（中学 1 年生相当）を対象とした総合の時間を「海とふれあう」をテーマに据え、1 年間を通して座学や遠足などをしながら学ぶというカリキュラムを実施している。「海と日本プロジェクト in 佐賀」の Youtube 動画を見た先生から、海のお話をしてほしいとの依頼があり、実施をした。メールで何度かやりとりを行い、私の専門である「クラゲ」についての話や実験を行うこととなった。

講座当日は、「クラゲ学」と題して、7 年生の皆さんにクラゲの「生物海洋学」、「生物学」、「水産学」の 3 つの視点の座学を 1 時間程度行った。それだけではなかなか印象に残らないと考え、クラゲの寒天標本づくりを 1 時間程度行った。また、1 年間、海を学ぶということから、それに参考になるような資料を作成、配布した。

今回は、1 年間学ぶ上で、学生自身が何を具体的に学ぶのかを決めるための講座であったこともあって、かなりまじめに話を聞いていたように感じた。実施して良かったなどの印象を受けた。ただ、クラゲの標本作りを行ったため、準備にはかなりの時間を要した。なかなか適当なクラゲが採集できず、前日になってやっと必要数のサンプルを確保できた。

私は鹿島市干潟交流館の指導員を兼任し、小学生や中学生を対象とした講座を行う機会が増えてきたため、ある程度、資料は準備できている。しかし、「海洋学」の専門的な用語を使ってしまうことも多々あり、その点について学生から質問を受けることもあった。教材作りはやはり重要だなと感じた。

今回、講演・体験学習の機会を提供して頂いた玄海みらい学園教員の皆様に感謝の意を表したい。